

学校教育目標

自ら考え 自らの力で 未来を切り拓く宮野浦の子ども ～自律・協働・創造～

本校ホームページ <http://www.sakata.ed.jp/miyanoura/>



宮小だより



令和6年9月20日号

発行:酒田市立宮野浦小学校

修学旅行

6年生は12日から1泊2日で、仙台松島方面へ修学旅行に行きました。時間前行動、話のきき方、友だちとの関わりも良好で、何より笑顔あふれる旅行になりました。担任のふり返しには「楽しく活動する修学旅行にできたのは、普段の学校生活からよりよい自分を意識して行動するみんなだからです。修学旅行は特別という意識ではなくいつも通り行動ができています」とありました。しっかり子どもたちに価値付けしてくれていてうれしく思いました。コロナ禍を経て昨年度から県外での宿泊になりましたが、修学旅行について改めて考えました。

学校外で活動することで、次の5つの良さがあります。

- ①いつもと違う環境に身を置くことで成長を促す。
- ②得意なことを見つけたり、苦手なことを克服したりして自信が持てるようになる。
- ③グループで行動することから、コミュニケーション能力が育つ。社会的マナーも身につけることができる。
- ④学校以外で活動することで新たな学びの機会が得られる。
- ⑤新たな文化に触れ感性が高められる。

小学校の一番の思い出に修学旅行をあげる子どもたちは大変多いです。とてもうれしいことなのですが、思い出づくりで終わらせるのはもったいないことだと考えます。修学旅行でしか学べないことがあり、子どもたちの人間的成長を図ることもできるので、学校では大切な行事として長年続いています。

では、何を学ぶのか。実際に目で見て触れて見学先の魅力を体感することが一つ。宿泊を含む集団行動の中で、自分たちが決めたルールやマナーを守ることが一つ。これまで以上に仲間の良さを実感し深めることが一つ。なぜ修学旅行にいくのか話し合い、確認することが大切だと考えます。そして子どもたちの参加意欲を、保護者の皆さんと一緒に高めていくことができればと思います。学校教育目標にもあるよう、子どもたちが主体的に活動できるよう、子どもたちの意見も取り入れ修学旅行でしかできないことを取り入れていくこともポイントになります。

安全面や金銭的な負担に対する保護者のみなさんの不安にも応えながら、次年度以降の修学旅行を計画していきます。

校長

